

「笑顔の力」

担任をしていた時のことです。毎朝、教室で生徒たちの顔を見て挨拶をします。朝から元気いっぱいの子、ちょっと眠そうな子、いろいろな顔があります。朝から笑顔の生徒もいます。たった一人の笑顔が他の人に伝わり、次から次へとみんな笑顔になるという微笑ましい日もあります。まさに、「箸が転がっても楽しい！」時期の生徒たちです。

通学路で立ち当番をしている時に、気持ちのよい笑顔で登校してくる生徒がいます。

「先生、おはようございます!」「おはよう! 今日朝からいい笑顔だねえ!」とこちらも自然と笑顔になっています。

「ダーナ(布施)(ほどこしの意味)」、なかでも阿弥陀さまがご修行中になされていたという「和顔愛語(やわらかな笑顔とやさしい言葉)」の布施を、仏教徒の理想的なあり方と知ってか知らずか、生徒たちは自然と実践しており、いいなあと思います。

一方、「コロナより怖いのは人間だった」というツイッターが話題になりました。

「マスクの入荷はいつ?」「いつもないじゃない!」

「病人がいていつも買えないのに、1個くらい取り置きしてよ!」

今まで笑顔だったお客様が、全員「鬼」に見えます。

「在庫聞きたいんですが」「いつなら入る?」

電話が鳴るたびにストレスです。

ドラッグストア店員としては、コロナよりも怖いのは人間だと思います。

目に見えないものより、目に見える人間が怖いです。

(あるツイッターより抜粋)

恐怖と不安の中、私が抱えるむさぼり・いかりの姿が垣間見えます。「正しく恐れる」ことの大切さを、あらためて痛感します。

今、日本だけでなく世界中が新型コロナウイルス感染症拡大防止に尽力している中、人との接触機会も極力減らすようにと言われていています。仕方のないこととはいえ、このことが人と人との「心」のつながりまで薄れさせ、孤独を抱える人が増えるのではないかと危惧しています。このような時だからこそ、笑顔が一層大事に思えます。笑顔には、人と人との心の壁を取りはらい、他の人に安らぎや喜びを与えるだけでなく、自分自身の心にも明るい灯を与えることもあるようです。そして笑顔には、社会全体をあたたくやさしくする不思議な力があるかもしれませんね。

こんなときこそ、笑顔で! 周りの人への感謝と思いやりを忘れずに過ごしたいですね。

一日も早く学校に生徒たちの笑顔が戻ってくることを願っています。

宗教室より